

ロシア・東欧学会
2024 年度研究大会 プログラム

2024 年 11 月 9 日(土)、10 日(日)、対面開催

於 早稲田大学早稲田キャンパス 16 号館

主催:ロシア・東欧学会

※報告者、報告タイトル、会場教室は変更になる場合もあります。会場はいずれも 16 号館です。

1 日目:11 月 9 日(土)

10:30 開場

11:00~12:30 自由論題分科会1・2

分科会1(政治・外交1): 16 号館 405

司 会:大串敦(慶應義塾大学)

報告1:油本真理(法政大学)・鳥飼将雅(大阪大学)「ロシアの選挙における政権とスポイラー政党:地方議会選挙データを用いた分析」

討論者:中馬瑞貴(ロシア NIS 貿易会)

報告2:堀田主(慶應義塾大学・院)「CSCE プロセスの変容とソ連解体:連邦構成共和国の関与拡大をめぐるソ連外交」

討論者:玉井雅隆(秋田大学)

分科会2(境界地域): 16 号館 406

司 会:月村太郎(同志社大学)

報告1:佐藤圭史(北海道医療大学)「モルドヴァ共和国における境界概念と国境管理の現状」

討論者:小森宏美(早稲田大学)

報告2:金森俊樹(慶應義塾大学)「コソヴォからジョージア、そしてウクライナへ——非伝統的国際法概念を曲解しての『未承認国家』設立」

討論者:松里公孝(東京大学)

12:30~14:00 休憩

14:00～16:30 共通論題「戦時下で変容するロシア像・ウクライナ像」(1):16号館 405

司会:立石洋子(同志社大学)

報告1:原田義也(明治大学)「時代が変える言葉、言葉が変える時代:戦時下のウクライナにおける文学実践の諸相」

報告2:平野高志(ウクルインフォーム通信)「ウクライナのクリミア・ナラティブ」

報告3:松下隆志(岩手大学)「『帝国』としてのロシア像:ウクライナ侵攻後のロシア右派知識人の言説を中心に」

討論者:高橋沙奈美(九州大学)、松寄英也(津田塾大学)

16:40～17:40 総会:16号館 405

18:00～20:00 懇親会 森の風(26号館、正門外)

2日目:11月10日(日)

9:00 開場

9:30～12:00 共通論題「戦時下で変容するロシア像・ウクライナ像」(2):16号館 405

司会:五十嵐徳子(天理大学)

報告1:上田洋子(ゲンロン)「戦時のメディアと日常」

報告2:松本かおり(神戸国際大学)「ウズベキスタンのレロカント——現代ロシア社会について考える」

報告3:山添博史(防衛研究所)「移り変わる戦争観とロシア像・ウクライナ像」

討論者:岩下明裕(北海道大学)、浜由樹子(静岡県立大学)

12:00～13:00 休憩

13:00～15:00 自由論題分科会3・4

分科会3(政治・外交2):16号館 405

司会:宇山智彦(北海道大学)

報告1:立花優(北海道大学)「旧ソ連地域における支配政党の脆弱性と存続:ジョージア・統一国民運動を中心に」

討論者:久保慶一(早稲田大学)

報告2:鳥飼将雅(大阪大学)「集権化のもう一つの戦場:2000年代ロシアにおける市長と知事の関係の変化」

討論者:溝口修平(法政大学)

報告3:松寄英也(津田塾大学)「東アジアにおけるウクライナの戦略的パートナーシップの起源と特徴——中国と日本」

討論者:加藤美保子(広島市立大学)

分科会4(歴史・民族・思想):16号館 406

司会:乗松亨平(東京大学)

報告1:巽由樹子(東京外国語大学)「19世紀前半ロシアの書物と「市民社会」:アダム・スミス『国富論』の輸入を事例として」

討論者:安達大輔(北海道大学)

報告2:三栖大明(北海道大学・院)「「エトノス死後」のロシア:現代ロシア民族学におけるエトノス理論の位置」

討論者:櫻間瑛(独立研究者)

報告3:藤井陽一(久留米高等学校)「ソヴィエト哲学界における哲学的価値論の展開」

討論者:下里俊行(上越教育大学)

15:15~17:15 自由論題分科会5・6

分科会5(国家とネーション):16号館 405

司会:高橋沙奈美(九州大学)

報告1:宮川真一(創価大学)「世界ロシア人民会議におけるロシア観の変遷——1993年~2023年」

討論者:西山美久(東京大学)

報告2:竹内大樹(舞鶴工業高等専門学校)「現代ロシアにおける「母語」概念の変容」

討論者:櫻間瑞希(中央学院大学)

報告3:ガブランカペタノヴィッチ=レジッチ・ヤスミナ(北海道大学) *Bosnian Muslim Politics Before the War in Bosnia and Herzegovina (1992-1995): the case of the publication “Muslim Voice”*

討論者:門間卓也(愛知学院大学)

分科会6(社会・経済):16号館 406

司会:藤原克美(大阪大学)

報告1:志田仁完(西南学院大学)「ロシア経済特区の現状:極東 TOR に関するケーススタディ」

討論者:堀内賢志(静岡県立大学)

報告2:武川覚威(筑波大学・院)「Xにおけるロシア関連ポストの感情及び言説にかかる研究」

討論者:ムヒナ・ヴァルヴァラ(上智大学)

17:30 閉会